

2017(平成29)年

5月号

どうやらキジとジジウカウの巣が、お寺の近くにありそうだ。住職だけが知っている。

s h i n k o h

心耕

6 6 6 6

西光寺の報

今月の行事

○十二日 常例法座 午後二時より

法話…住職担当

○二十日 築地本願寺降誕会参詣

大相撲観戦 十二時生光二時法座

○二十六日 公開法座「落語と仏教」

於・サンプリング市原十三時より

落語…滝川鯉輪 説話…住職

池上さんの写真会 十九日(金) 午後一時より

二階さんの勉強会…今月はお休み

京・西本願寺伝灯奉生法要参拝

・二日 高野園都市間救急車隊員0日会団体参拝 住職挨拶

・十五・十六・十七日 牛草畑団体参拝 若住職と阿婆もる

14日 08:00 草刈り 雨天中止 毎朝 06:30 御晨朝 おあなこい

まだ水を張っていない寺の前の田んぼで、キジがつかないで何かをいばんでいる。自立たな

いれは下を向いているばかりだが、社は奇麗を伸ばして周囲を見渡し、時折チョンチョンと

二、三回餌をついばむ。男はこいついつものだとこまっている

ようだが、この所から人と鳥を一緒にしたらいかんよと声を聞かして来そうだ。

晩春が初夏、多くの生きものの命をつなぐ季節。袖ヶ浦の

バスターミナルには蕨の田地とあるらしい。

前の田んぼの向こうには卯の花が白く咲いている。水が張られたらとっと美しくなる。

ナニシヤナニヤナニヤ

大信心は 仏性なり

仏性すなわち 如来なり

もう三十年以上も前小川真由美主演の『女ねずみ

小僧』というテレビ番組があり、ゲスト出演の三国

連太郎が「信心よろこぶそのひとを 如来とひとしと

きたまふ」と話した。この台詞の下句が今月の言葉

「大信心は仏性なり 仏性すなわち如来なり」である。

浄土真宗の信心は阿弥陀如来から頂いたものであ

る。他力信心である。だからその信心をよろこぶとい

ことは、そのままが如来のよろこびの表れであり、如来

とひとしと云われるのである。

凡夫の心に起きる信心、それが如来から頂いた信心

であるから大信心という。それは仏様のあらわれであ

るから凡夫に現れた如来の相であるという。

この世にある限り、凡夫は百パーセント凡夫のまま

生きることしかできない。観無量寿経の中で釈尊が、

思ひ上がる韋提希夫人に向けて『汝は是れ心想事成羸劣の

凡夫』と厳しくたしなめられ、罪悪深重の身であること

を示されていく。そのことにやがて気づく韋提希はナン

マンダブと、阿弥陀如来の智慧に促され慈悲に包まれ

る穏やかさをようやく得ることが出来るようになる。

『女ねずみ小僧』の三国連太郎の台詞はアドリブだ

う。小川真由美はキョトンとした顔で聞いていた。庶民

の中で、盗人とはいえ義賊として評価を集める者への厳

しい戒めとしてのアドリブであったのだろう。三国

連太郎は深く親鸞聖人を敬いナンマンダブを喜んで

いた。その最後の映画となった釣りバカ日誌の最終回、

最後の場面で舞台の上で登場してくる出演メンバー

の中に老い果てた谷啓の嬉しそうに歩く姿が小さくあ

った。谷啓はその映画には出演していない。だが映画を

作った者たちの心配りであったのだろう。わざわざ招

いたのである。凡夫が凡夫であることを知らされると、

こんなに暖かい心配りが出来るようになるのである。

5月の法座案内

12日(金) 定例法座 13:00~15:00

お勤め：正信偈

法話：住職
信心よるこころのひとを 如来とひとしのべたもう
大信心は仏生なり 仏生可なり如来なり

第4日曜日は出張法座!

西光寺公開講座 後援 築地本願寺

落語と仏教

落語家
瀬川鯉輪

住職
吉弘円秀

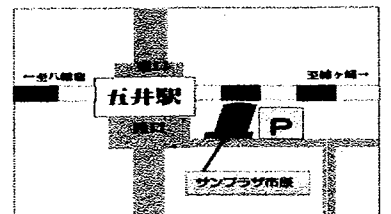
プログラム
落語の部
・転失気
・お楽しみ
仏教の部
・周利槃特

平成29年5月28日(日) 午後2時~4時

サンプラザ市原 1階 ispace

参加費：無料 予約：不要

駐車場：有 *どなたも参加できます
友人もお誘いください。



各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、朝のお勤めをしています。主に正信偈を読みます。朝から声を出すことは気持ちがいいものです。

・草取り

毎月第二日曜日の朝八時から一時間ほど御加勢お願いいたします。*雨天中止
十四日(日) 八時〜九時

・写経会

池上さんが講師です。いつでもどうぞ！
六月から、壮年会婦人会合同です。
壮年会 一七日 一八時〜
婦人会 休み

・壮年会・婦人会主催の勉強会

三島さんが講師です。真宗の教えを知りたい方は是非！
壮年会 休み 六月は七日
婦人会 一二日 十時半〜

・心耕発送者募集！

毎月皆様のお手元に届けられる心耕。この心耕は、有志のご門徒にお手伝いいただき発送をしています。この発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三カ月に一度 主に月初めの平日
時間…一〇時〜一二時 特製ランチ付♪

・メールマガジンのご案内

・毎月の行事、公開講座、子供会、落語会のご案内や4コマ漫画を、メールマガジンで配信。登録は、左記のQRコードを用いるか、saikohji@saikohji.netまで、氏名を記入し送信してください。



・ポスティングお手伝い募集

度々開かれる、子供会・公開講座・落語会のチラシを近所へ配布しています。もし皆様の中で近所の五十軒だったら回れる、この町内は回れる。このお店にチラシを置かせておられるなどありましたら、連絡して下さい。年に数回です。ご協力よろしくお願いたします。

・降誕会と大相撲観戦

残りあとわずかです！
五月二一日(日) 一二時集合二〇時到着
会費…一万円(夕食込)

・落語を見に行きませんか？

「落語の中の浄土真宗」実行委員会主催の公演に、ここ数年見に行っています。西光寺から若住職運転のワゴンで参ります。興味のある方は連絡して下さい。現地集合・解散もご相談を！

日時…六月二日(金)

西光寺集合…一六時 解散…二二時

場所…浜離宮朝日ホール

会費…五千円(チケット・レンタカー代等)

テーマ「お坊さんって何だろう？」

講師…桂雀々師『鶴満寺』『八五郎坊主』

釈徹宗師

・西光寺ヨガが始まります！

六月から西光寺でヨガ教室が始まります。ヨガは、仏教の修行法の一つでもあります。ヨガにもいろいろありますが、西光寺のヨガは、東洋医学をしつかり学んだ先生による呼吸法も大事しているヨガです。

西光寺ヨガ(名称仮)

日時…六月一三日(火)、二七日(火)

一四時〜一五時

毎月第二・第四火曜日を予定

会費…一回五〇〇円 高校生以下無料

講師…相田萌花師(門徒)

備考…ヨガマットがある方は持て来てください。無い方でもレンタルをしています。

忌

「忌」という漢字はどういう印象を受けますか。

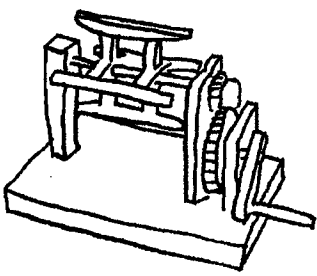


おそろくは、「死」とか「穢れ」というイメージをもつ方も多いかもしれません。実際に辞典を引いてみますと

「避ける・戒める・控える」

などがあります。しかし、漢字の成り立ちを見ますと、「己」は、三本の糸をつむる糸巻きの象形文字、「心」は、心臓の象形文字。どちらも、「整える」という意味があります。「忌」は世間の印象と成り立ちが大きく違うようです。

忌にはもうひとつ、尊敬するという意味もあります。私は、忌は後者で用いたのです。一周忌、三回忌、忌中と「忌」が使われますが、これは穢れとか故人のためではなく、己の心をもう一度確認して、整えさせて



ていただく場なのだと思います。だから、手を合わす回数が多い方がいいのです。これが浄土真宗の仏事の考え方です。

私には GW ゴールデンウィークに見入るのだと名作

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

いろは歌

いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ
うゑのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせす

誰もが知ってるいろは歌。実は、仏の教えが込められています。漢字にすれば、

色はにほへど 散りぬるを 我が世たれぞ 常ならむ
有為の奥山 今日越えて 浅き夢見じ 酔ひもせず

訳しますと、花は咲き誇り、そして散るように、この世で誰が永遠に生きることができましようか。生まれたものは必ず滅びなければなりません。しかし、そう聞いてはいませんが、いざとなると悩むのが人間です。その深い迷いの山を越えさせていただいたならば 損得にとらわれた夢を見ることもないですし、欲望の酒に酔う事もないのです。

この優れた歌は、涅槃経というお経の中で説かれている

「諸行無常、是生滅法、生滅滅已、

寂滅為楽」を訳したものだと言われています。

この偈が説かれている部分におもしろ

いエピソードがあるのですが、それはまた

説教にしますのでお楽しみに。



住職多感

今月号は十二ページ立てになった。四月二三日開催の門信徒会総会の討議資料から五ページ分を入れたからだ、総会資料は十二ページある。その中にある納骨堂建設に向けての私の思いは、十年以上にわたって温めていたもので六月号で建設準備会への呼びかけを考えている。

若住職の結婚に際し仲人を務めていただいた鴨川・福田寺の住職が三月九日に往生され、その門徒葬が四月三〇日に行われた。生前、代務住職を託された若住職が挨拶に立った。この世に別れを告げるということとは次の代の力になっていくということだ。たまたまの出会いが真の出会いになっていくということだ。真の出会い恵まれて人は初めて人としての悲喜を学ぶ。奥歯を噛みしめて高ぶる感情をこらえる若住職の姿に、福田寺住職と若住職の間に往き通う思いの篤さを思い、尊さを感じた。しっかりと代務を果たしてほしい。

今月二八日の公開講座、『落語と仏教』というタイトルで、落語は昨年もお願ひした滝川鯉輪師。仏教は私が語ることになった。時折話していた「周利般特」。三〇四〇分。今回は第一部で次の機会に第二部を用意したい。

いまだに出口の見えない福島第一原発事故。大きな時代の転換点であるはずなのに、昭和二〇年に匹敵するほどの、いやそれ以上の大事であるのに、敗戦を終戦と言ひ変え、ほとぼりが冷めるのを待つて仮面だけを取り換えた旧態依然のグロテスクを担ぎ出してくるように、安全神話と経済効果で同じ道を歩もうとしている。土台が腐っている。否、土台そのものが間違っている。

仏教は苦しみを通して人間を考えてきた教えだ。苦しみは具体的だ。しかしその具体性が闇に覆われ見えない。苦しみの感覚だけに惑わされている。苦しみを楽と思う逆転も起きる。同じことでも将来のことといえば賢く、目先のことといえば愚かしい。

六月の行事

●十二日 常例法座

●二十三・二十四・二十五日

永代経・門信徒物故者追悼会

●池上への写経会 九日 一時より

●三島への勉強会 七日 六時より
十二日 十時半より

●十六日 六字の会総会 於・弘教寺

●草刈り 十四日 八時より

●お磨き 二十日 十時より

●二十六日 聞法会 於・築地本願寺

発行

浄土真宗 本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三二一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP <http://saikohji.net>

MAIL saikohji@hb.tp1.jp